



昭和26年2月22日
 社会福祉法人
 秋川赤十字会

梅雨が明けました

本格的な暑い夏がやってくる事を考えると
 いやな気持ちもしますが、水害もなく、世事
 に梅雨期も終わったと思えば、幸な事です。
 大変な被害で困っている地方を考えると……

学校も長い夏休みに入り専ら

世の中も夏休みの所が多くなり旅行や里帰
 等々のお入りも多くなり専ら

すでは夏祭り、花火大会等々世の中辛い話
 と同じく楽しい話題も多くなり専ら

これが世の中なんだとつくづく思っています

さて、月日の過ぎるのは、光陰矢の如し
 と言われるように、一年の半分も過ぎました

子ども達も一学期の様子が体験をして一枚と

たぐましくなり、このクラスも夏のあそび、

水あそびに工夫をこらして生活をしているま
 うです

昔から、子どもは夏育つと言われていますが
 その通りです

夏は、園でもそうだが、家庭・地域・社会的
 にもみずもスケルの大きな出来事に出合う機

会が多いです

人は、家族は勿論ですが、地域とのつながりが
 あるこそ生き生きと育ちます

また、お盆で里帰りし、墓参りや盆行事
 のお盆い等も、子ども時代には、経験です

地域の行事等にも家族で参加したいもの
 です

ただし、すべし、水難事故等の報道も

あります、気持ち散漫になる時でも

ありますので、その辺は十二分に注意する

十三回忌とお盆行事を終えて

(前理事長 今 勉の法要)

保育園設立に多大の誰よりも理解者が協力者
 だった夫でした

中学校の教師として三十七年間、都の教育相談
 員として六年間働く中、いろいろな意見を
 出し、協力してくれました

平成二十四年五月十六日 当日暑い日でした

保育園のいなん訓練と、通報訓練に立ち会い
 消防署の方々が序付け始まる時、理事長さん
 も訓練され専らに對して、学校でいなんやらで

来にレ、今日はいいです、お茶をお淹れしようと
 僕がここにいと邪魔になるな、と言った

事務所を出て二階へ通じる階段の所で意識
 不明、大動脈かいりで、その日のうちに天國へ
 あれから十三年がふとという間に過ぎました

結婚して子どもが生まれ、毎年一年間成長の記
 録を写真に……父親馬鹿ぶりの

私が、子どもの成長の不思議さとおもしろさは
 こんな方針の保育園を作りた……と言
 出した時

「中学になつてからは遅い、乳児幼児時代
 こそ一番大切に

親と子をひき離すような教育や保育、
 子育てのよろこびを親からうばうような

保育は絶対にダメだ、いつも言っていました
 保育園を創設したいと言った時も文句一つ

言ふ事なく、すべしこの私財を投げ出し、素人としほ
 弱体な法人であつても子ども達を思う気持ち

誰にも負けない、そんな思いで、いよいよ一念で
 今、思うとあの人が、保育園創設に決心が

ついたので、十三回忌やお盆行事を通じて思
 ったこの教員としての個人的な話でありせん

※保育園は行政と多数の人の支援で運営され
 ます